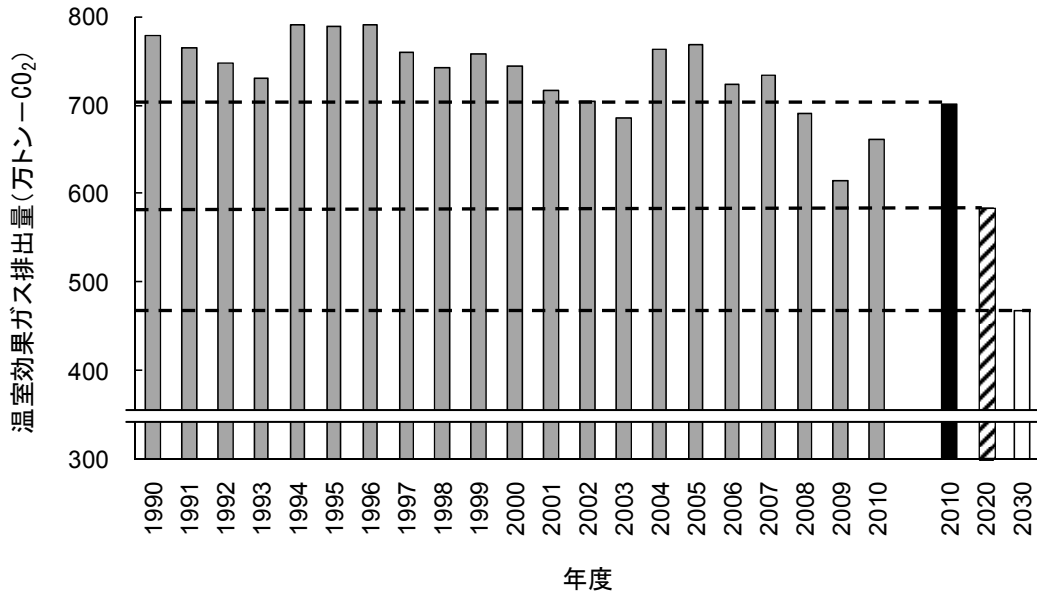
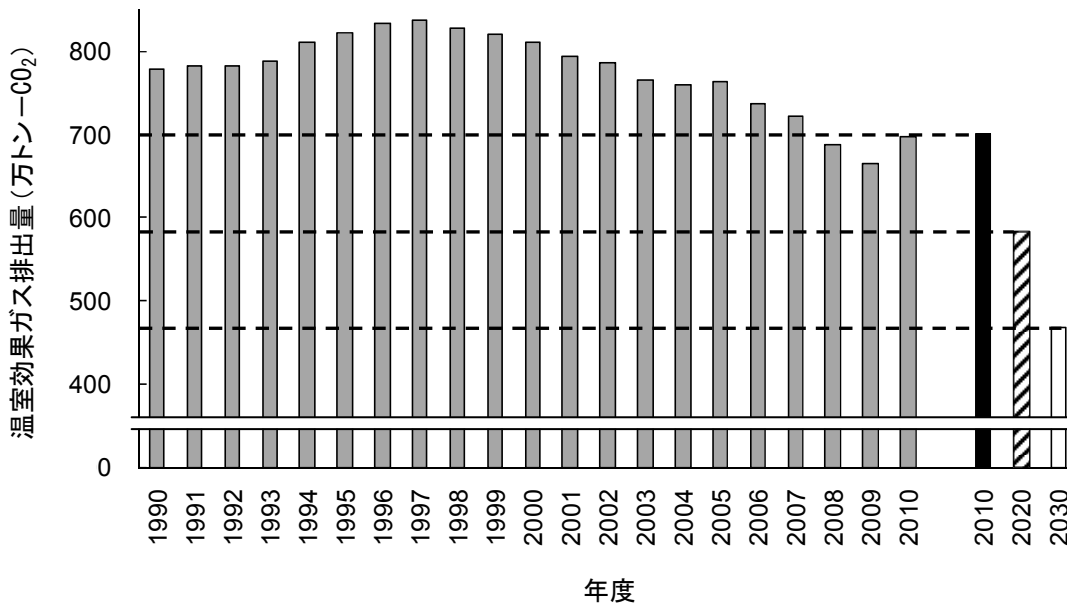


2010 (平成 22) 年度の温室効果ガス排出量について (参考資料)

＜表 1＞温室効果ガス総排出量の推移

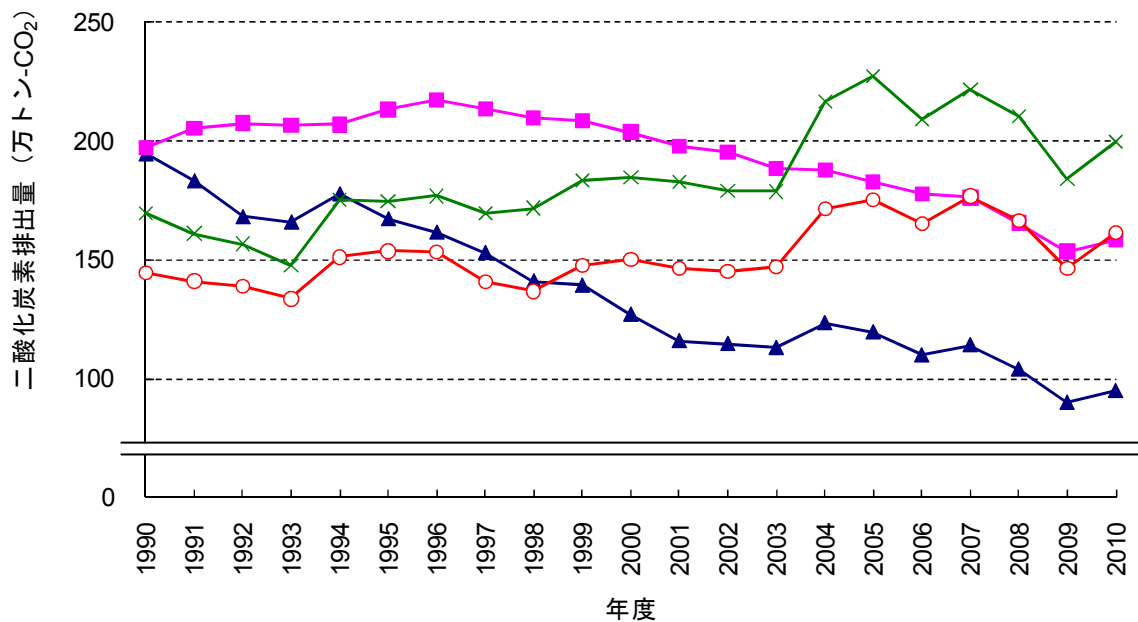


【係数固定の排出量】

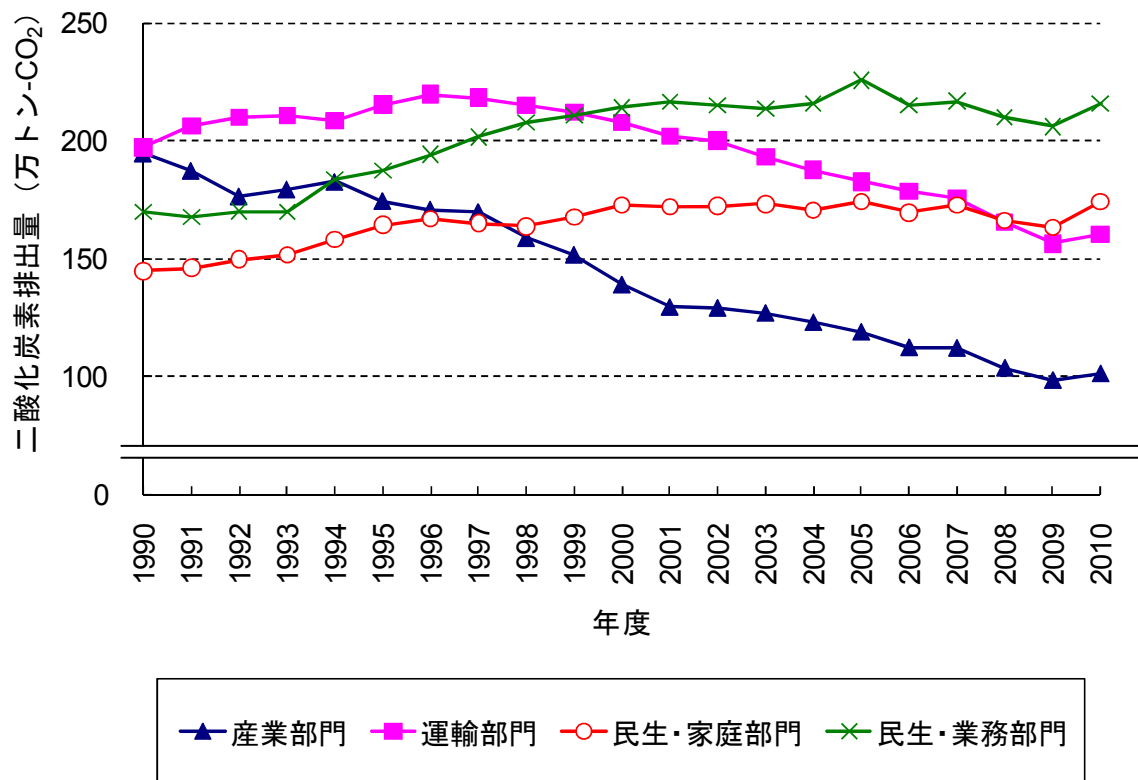


- : 各年度における温室効果ガス総排出量
- : 1990年の温室効果ガス総排出量の90%に相当する量 (改正前の京都市地球温暖化対策条例の目標)
- ▨ : 1990年の温室効果ガス総排出量の75%に相当する量 (改正後の京都市地球温暖化対策条例の目標)
- : 1990年の温室効果ガス総排出量の60%に相当する量 (改正後の京都市地球温暖化対策条例の目標)

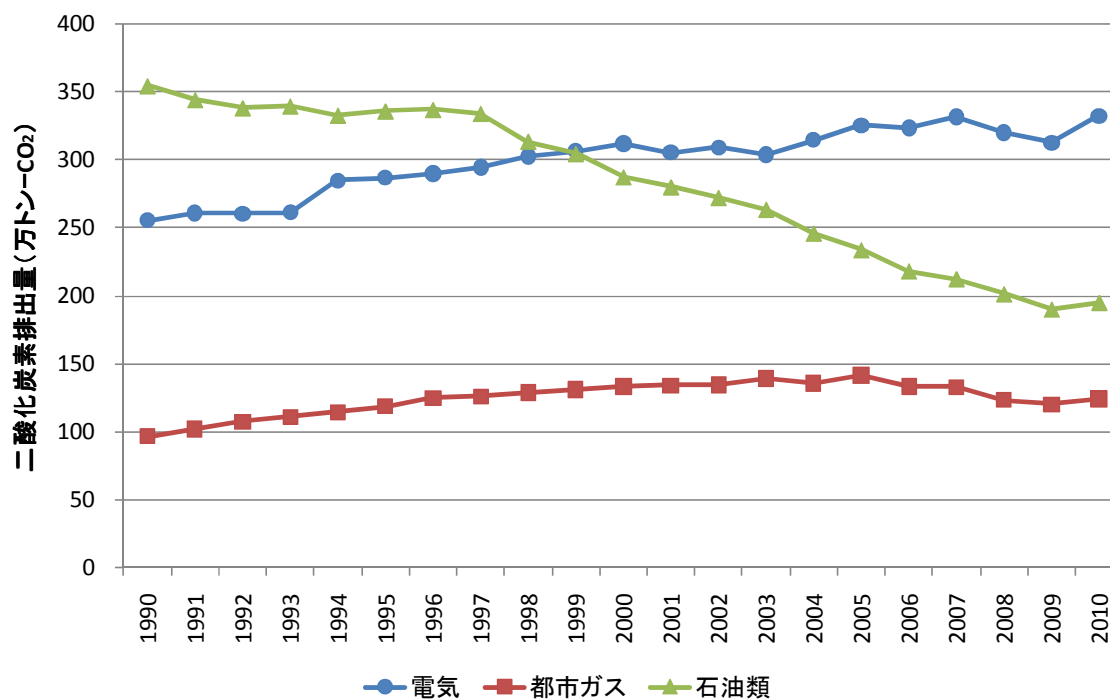
＜表 2＞部門別の二酸化炭素排出量の推移



【係数固定の排出量】

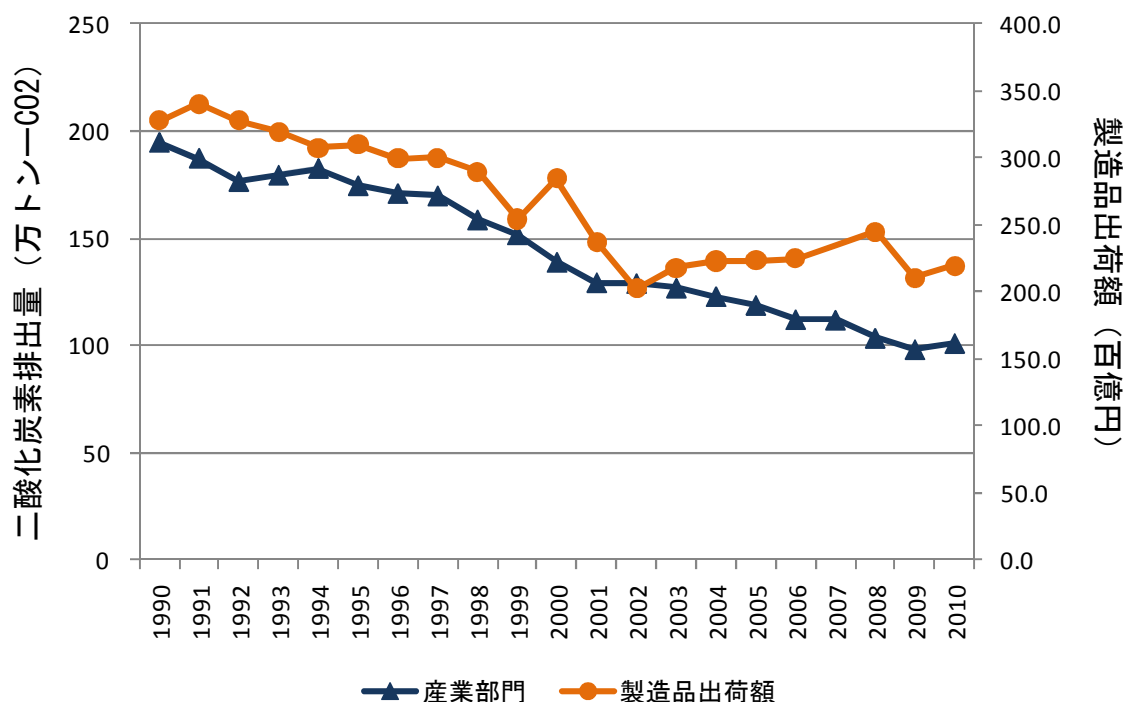


＜表3＞エネルギー源別二酸化炭素排出量の推移



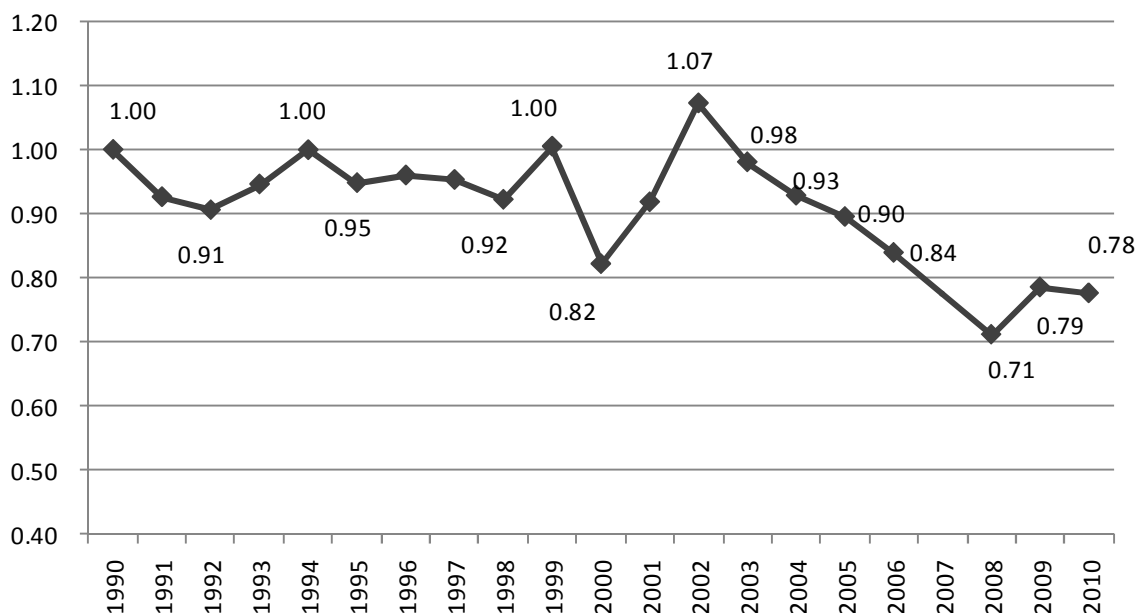
※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値（0.353kg-CO₂/kWh）で固定して算出している。

<表 4> 産業部門の二酸化炭素排出量及び製造品出荷額の推移



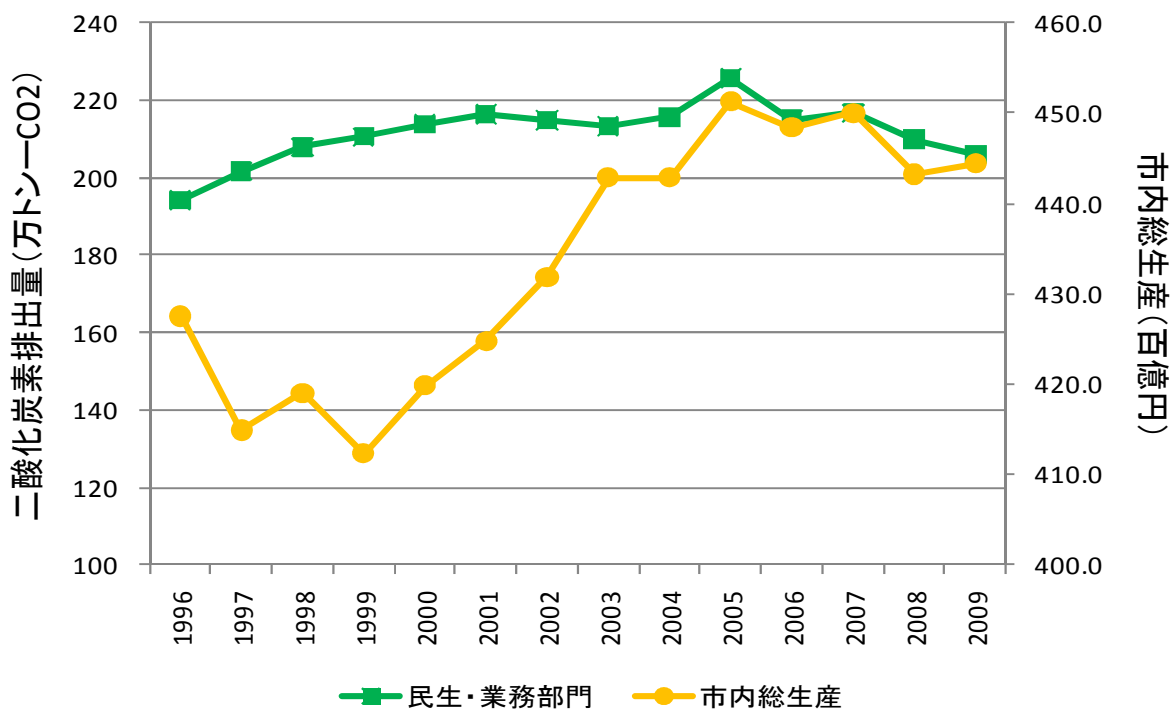
※ 製造品出荷額は、「工業統計調査」の従業者4人以上の事務所の値を用いた。
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値(0.353kg-CO2/kWh)で固定して算出している。

<表 5> 二酸化炭素排出原単位 (産業部門 CO2/製造品出荷額) の基準年度比較



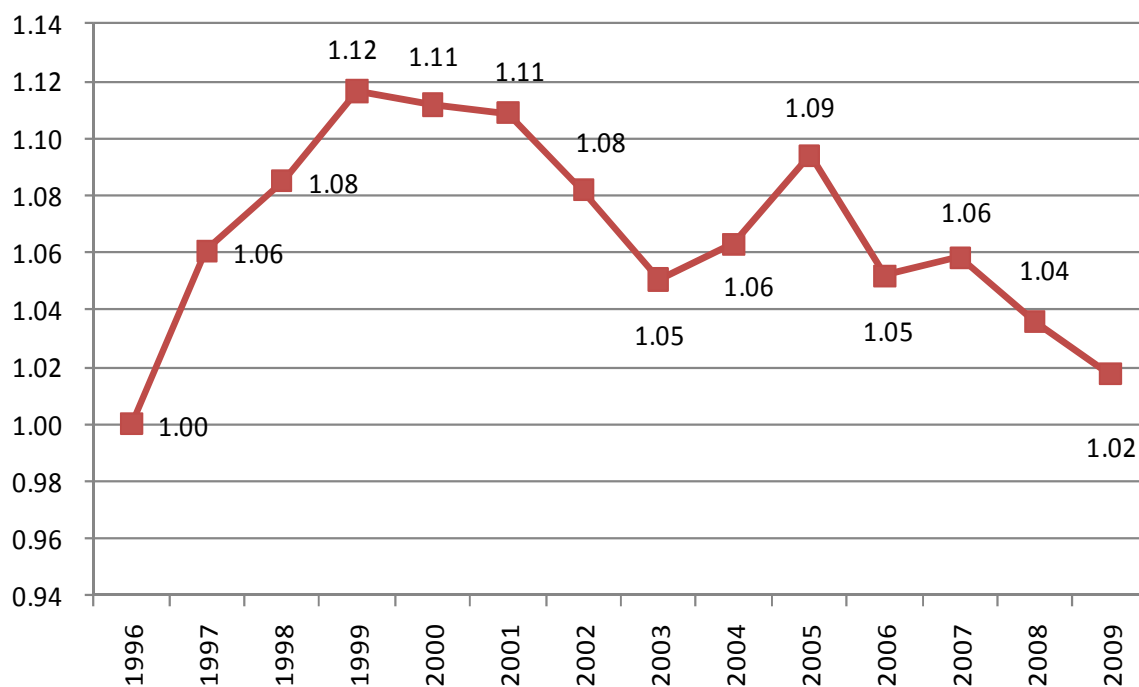
※ 製造品出荷額は、「工業統計調査」の従業者4人以上の事務所の値を用いた。
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値(0.353kg-CO2/kWh)で固定して算出している。

<表 6> 民生・業務部門の二酸化炭素排出量及び市内総生産額の推移



※ 市内総生産は、「京都市の市民経済計算—平成21年度推計結果—」の「経済活動別市内総生産（実質：連鎖方式）（平成12暦年連鎖価格）」の値を用いた、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、サービス業、政府サービス生産者の合計値
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値（0.353kg-CO2/kWh）で固定して算出している。

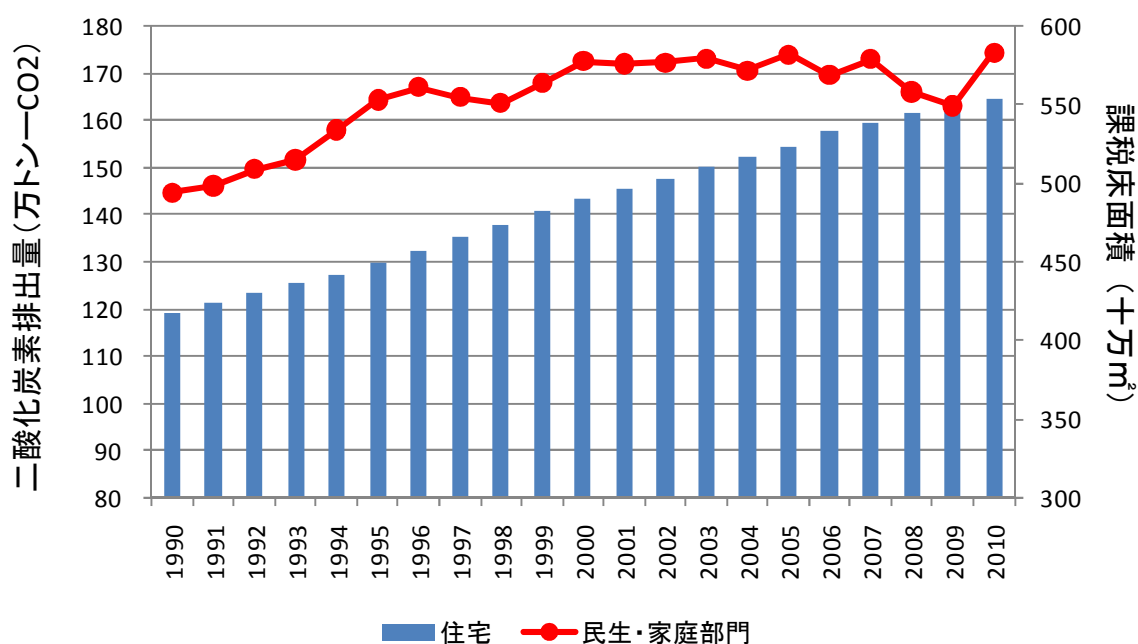
<表 7> 二酸化炭素排出原単位（民生・業務部門 CO2/市内総生産額）の基準年度比較



※ 市内総生産は、「京都市の市民経済計算—平成21年度推計結果—」の「経済活動別市内総生産（実質：連鎖方式）（平成12暦年連鎖価格）」の値を用いた、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、サービス業、政府サービス生産者の合計値
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値（0.353kg-CO2/kWh）で固定して算出している。

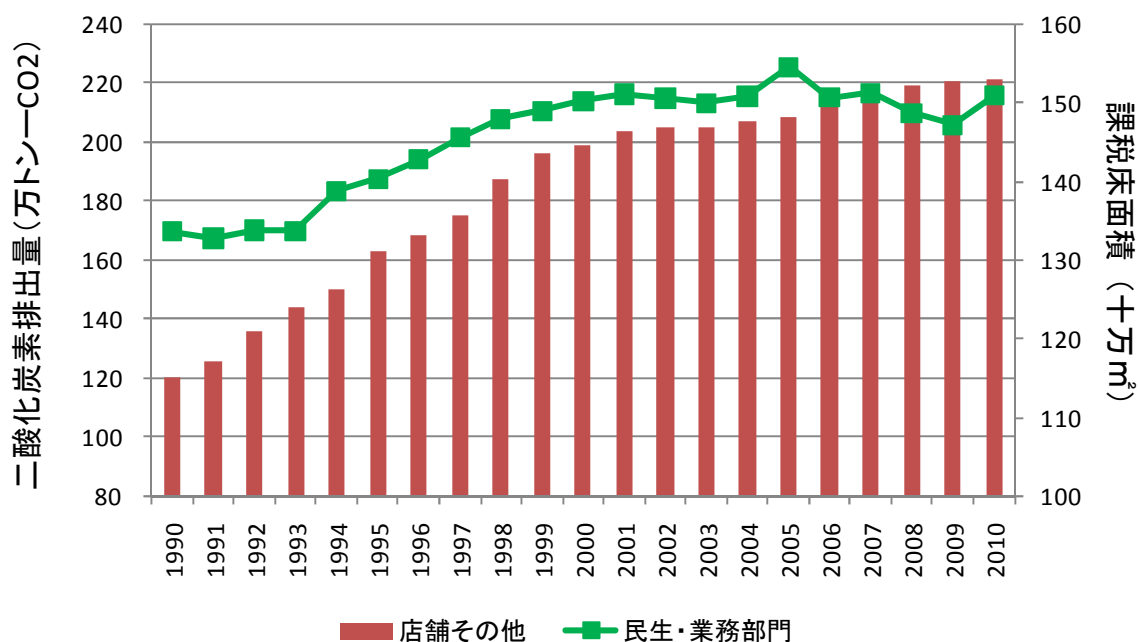
＜表 8＞民生部門の二酸化炭素排出量及び課税床面積の推移

【民生・家庭部門の二酸化炭素排出量及び住宅の課税床面積】



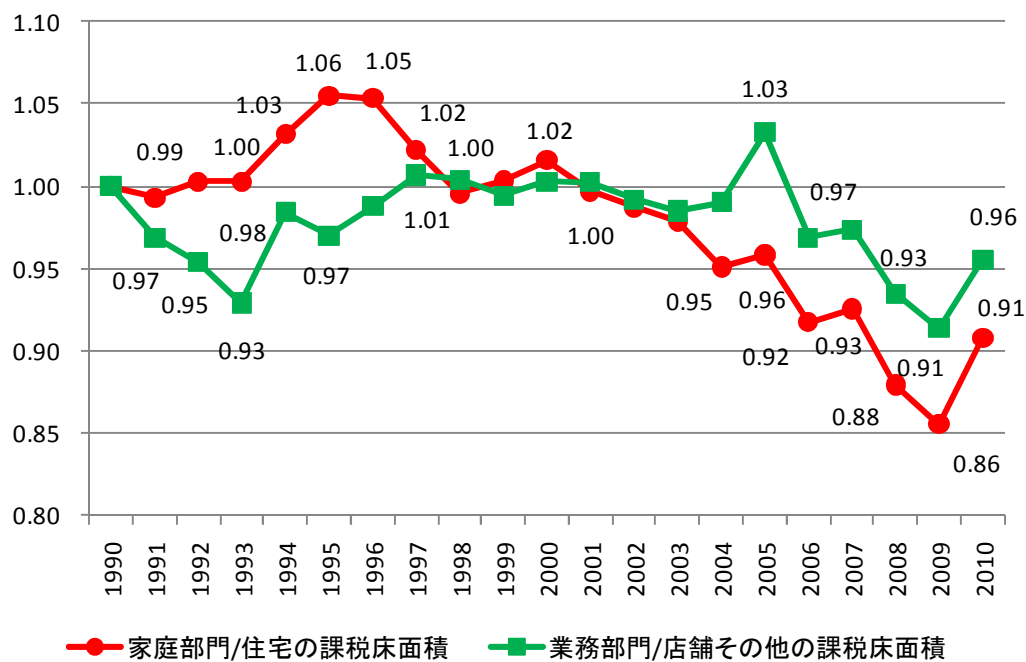
※ 「住宅」は、専用住宅、併用住宅、アパート、農漁家等で付属家を含む。
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値(0.353kg-CO2/kWh)で固定して算出している。

【民生・業務部門の二酸化炭素排出量及び店舗等の課税床面積】



※ 「店舗その他」は、店舗、銀行、百貨店、事務所、劇場、映画館、公衆浴場、市場、土蔵等の合計である。
 ※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値(0.353kg-CO2/kWh)で固定して算出している。

<表9> 二酸化炭素排出原単位 (CO₂/課税床面積) の基準年度比較



※ 二酸化炭素排出量は、関西電力㈱の電気の排出係数を、基準年度の値 (0.353kg-CO₂/kWh) で固定して算出している。